

令和7年1月瀬戸内市教育委員会 会議録

I. 開催日 令和7年1月31日(金)

II. 開会及び閉会
開会 13時23分
閉会 15時15分

III. 出席委員

教 育 長	萩 原 康 正
委 員	山 本 正
委 員	平 松 美 由 紀
委 員	金 光 一 雄
委 員	床 裕 子

IV. 出席職員

教 育 次 長	山 本 正 樹
総務学務課長	河 原 克 仁
総務学務課参事	渡 邊 裕
総務学務課参事	片 岡 学
社会教育課長	櫻 田 智 子
公民館館長	富 岡 潤
図書館館長	小 林 裕 治
学校給食調理場所長	森 山 光 晴
総務学務課総務係長	藤 井 大 樹
総務学務課主事	富 浦 沙 樹

V. 議事の内容

1. 開 会

○床委員就任あいさつ

2. 教育長報告について

萩原教育長

【受賞関連】

○令和6年度優良PTA文部科学大臣表彰（2月28日表彰式）

瀬戸内市立裳掛小学校父母と教師の会（PTA）

【推薦理由】PTAの努力目標を「眠育」とし、学校と保護者が連携して児童の基本的な生活習慣を定着させるための取組を行っている。PTAと地域住民等が連携して児童の教育活動を支援している。

○わかば賞 1/15（水）

岡山商科大学附属高等学校 1年 1名

邑久中学校 3年 1名

【会議・行事関係】

○ 総務学務課関係

（市教委関連）

・就学指導説明会② 1/6（月）

・市校園長会 1/10（金）

・学力向上担当者研修会③・プロジェクト会議 1/21（火）

（学校園関連）

・学校閉庁日（部活動休止） ～1/3（金）

・第3学期始業式（幼・小・中） 1/7（火）

・第8回瀬戸内まなび塾 1/17（金）

・第3回不登校対応研修会 牛窓ブロック 1/14（火）

邑久ブロック 1/22（水）

長船ブロック 1/29（水）

・定時退校日 1/24（金）

○ 学校給食調理場

・給食配食開始（小・中学校） 1/7（火）～

・ "（幼稚園） 1/8（水）～

・全国学校給食週間 1/24～30

・地元食材の無償提供（JA岡山キャベツ部会・白菜部会より）

提供食材（牛窓甘藍 120kg、冬黄白菜 90kg）

1/29（水）邑久・牛窓調理場（みぞれ鍋、キャベツとツナのあえもの）

1/30（木）長船調理場（キムチラーメン、大豆あえ）

・学校給食調理場運営委員会 1/27（月）

○ こどもみらいサポートセンター

・教育支援センター「のぞみ」第3学期始業式 1/8（水）

- ・あいさつ・見守り活動 1 / 7 (火)
 - ・早朝巡視 1 / 10 (金)
 - ・中学校・高等学校生徒指導連絡会 1 / 17 (金)
 - ・おかえりコール 1 / 14日 (火)
21日 (火)・28日 (火)
- 社会教育課関係
- ・瀬戸内市「二十歳の集い」 1 / 12 (日)
 - ・二十歳の集い第4回実行委員会 1 / 28 (火)
- 社会体育関係
- ・邑久 B&G 海洋センター体育館アリーナ再開 1 / 21 (火)
 - ・スポーツ推進委員会定例会 1 / 22 (水)
- <市スポーツ協会関連行事>
- ・ゴルフ大会 1 / 4 (土)
 - ・歩こう会 1 / 12 (日)
 - ・スポーツウェルネス吹矢大会 1 / 12 (日)
 - ・冬季ソフトバレーボール大会 1 / 12 (日)
 - ・新春ペタンク大会 1 / 18 (土)
- 公民館
- (中央公民館)
- ・パソコン何でも相談会 1 / 14 (火)
 - ・邑悠学級：市長講演「これからの瀬戸内市」 1 / 16 (木)
 - ・せとうちおもちゃの病院 1 / 25 (土)
 - ・新春将棋大会 1 / 26 (日)
- <文化があふれるまちづくり事業>
- 文化の種まき応援事業
- ロビーパフォーマンス「レコードを聴こう」 1 / 19 (日)
 - ホールパフォーマンス「箏曲お弾き初め会」 1 / 26 (日)
- (牛窓町公民館)
- ・いきいき学級：市長講演「これからの瀬戸内市」 1 / 17 (金)
 - ・マンホールトイレ設置工事完了検査 1 / 30 (木)
- (長船町公民館)
- ・ふれあい学級：市長講演「これからの瀬戸内市」 1 / 23 (木)
- 図書館
- ・おんどく倶楽部よむもみわ 1 / 10 (金)

- ・裳掛移動図書館 1 / 9 (木)
- ・アマチュア人形劇団定期公演：ぱれっと 1 / 12 (日)
- ・もみわセミナーvol.66
「瀬戸内市の書道家 大原桂南」ギャラリートーク 1 / 18 (土)
- ・もみわシネマ：邦画「居眠り磐音」 1 / 19 (日)
- ・こどもシネマ：日本の昔話「いくさはやめた」ほか 1 / 26 (日)
- ・もみわセミナーvol.67
能登半島地震から1年～もし地震が起きたら、あなたは どうしますか？～
講師 難波 澄江(災害支援ナース)他 1 / 25 (土)
- ・邑久高校POP・セトリー展示 1 / 30 (木)～2 / 23 (日)
- ・牛窓中学校新聞展示 1 / 30 (木)～2 / 25 (火)
- ・長船中学校POP展示 1 / 30 (木)～2 / 25 (火)

<おはなし会>

- 市民：乳幼児対象 1 / 15 (水)
- ：幼児～小学校低学年対象 1 / 11 (土) 25 (土)
- 牛窓：幼児～小学校低学年対象 1月はおやすみです。
- 長船：乳幼児対象 1 / 8 (水)
- ：幼児～小学校低学年対象 1 / 18 (土)

<おすすめ展示>

- 市民：一般「図書館職員が選ぶお楽しみ福袋」(1 / 5～)
- ：一般「もしもの時にあわてない防災」(1 / 5～)
- ：児童「2025年は、巳年！「ながい」がキーワードの児童書」(1 / 5～)
- ：YA「自分プロデュース！」(1 / 5～)
- 牛窓：一般・児童「図書館職員が選ぶお楽しみ福袋」(1 / 5～)
- 長船：一般・児童「図書館職員が選ぶお楽しみ福袋」(1 / 5～)

<図書館友の会>

- ・もみわ読書会 課題本「羊と鋼の森」 1 / 19 (日)

<協働提案事業>

- 夜までまるっとせとうちライブラリー (20 : 30まで延長開館)
- ・ 1 / 17 (金) つなぐとしょかん (市民活動交流会) 18:30～20:00
- ・ 1 / 18 (土) 本とわたしのマーケット 15:00～17:30
- ・ " 瀬戸内ほしのさざなみ映画館 17:00～19:00

<瀬戸内市地域自立支援協議会>

- ポップコーンの販売 1 / 25 (土)

<ママカフェ野いちご・福田子育て支援センター>

- ・ふれあい絵本 1 / 24 (金)

○ その他

- ・院展 瀬戸内市立裳掛小学校 1～4年生作品展示 1 / 2 (木)～13 (月)
- ・仕事始め式 1 / 6 (月)
- ・牛窓生まれの詩人高祖保没後80周年詩碑除幕式 1 / 8 (水)
- ・瀬戸内市消防出初式 1 / 19 (日)
- ・地震対応(図上)防災訓練 1 / 21 (火)
- ・せとうちゼミナール「信念の人 ガラシャ」 1 / 25 (土)
- ・「晴れの国岡山」駅伝競走大会 1 / 26 (日)

萩原教育長 一つ目。先月の議会で、牛窓地区の義務教育学校の方向性について質問があった。

コミュニティスクール等で地域と学校でしっかり話をしてもらうことが前提である、ということをお伝えしたと思う。

総社市の『昭和五つ星学園』という学校が、700メートル程離れて、1年生から5年生と、6年生から9年生で校舎が分かれている県内唯一の所である。

英語特区を利用している関係で、市外からも入学が可能となっている。

今、1年目が終わろうとしているところで、先日総社市の教育長とお話をする機会があり、非常に順調に進んでいるということで、来年度、可能であれば見学に行きたいと考えている。

見学は、私たちだけではなく、教育委員会事務局、教育委員の皆様、或いは学校関係者にも見ていただき、1つのモデルを提示できたらと思っている。

二つ目。福山市に『常石ともに学園』というイエナプラン教育をしている学校がある。そこを見に行かれて、瀬戸内市でもできないかなというような形だ。イエナプラン教育というのは、1学年1クラスで1年生から3年生を、4年生から6年生をグループとして、教育活動を異年齢集団で行っているような学校である。

映画『夢見る小学校』が、春先に裳掛小学校で上映された。その学校自体は山梨県にある『南アルプス子どもの村小学校・中学校』という私立の学校だが、そこで、感情知性、人間関係、いずれの面でも、『自由な子ども』に育てて欲しいということを教育目標として、子どもたちに、自己決定、個性の尊重、体験学習を基本とするようなコンセプトでやっている学校。映画等を見られて、今そのようなことを考えられているようだ。そのため今後、瀬戸内市ではこういう話が出てくる可能性があると思っている。

三つ目。昨日、一昨日と岡山県下の9市の教育長が、一緒に視察研修に行ってきた。視察した場所は、徳島県の神山町という人口4000人あまりの町だ。山林が86%という、本当に山の中にある学校だが、15年20年ぐらい前からテレ

ビのデジタル放送が始まることによって、アナログでは、関西からの電波が拾えなくなるため、光ファイバーを町中に早く通して、それをもとに、東京から企業を誘致して、そこで、東京の方が現地に来て、暮らしながら仕事をしていくということを取り入れられて、移住の推進に力を入れている。

そういう中に、昨年度、『神山まるごと高専』という私立の高専を作られた。定員は1学年40名で、現在2年生までが在籍している。特徴は何かというと、民間から資金を集めている点で、1社10億円を、11社から集めたそうだ。ソニーや富士通など、大手の企業が出資された。

その集めた資金を運用し、子どもたちの授業料を全員免除にしている。

そこでは、卒業生の40%を起業家に育てるというのを1つの目標にしており、個性的な授業もされていた。

スクール形式の部屋とグループ活動ができる部屋が5つずつあったが、2学年ともに、グループ活動でほとんどやられている。教員が少ししゃべったら子どもたちが話し合いをしてという、今求められている教育をしていた。

その中で特徴的だったのが、チャレンジファンドという形で部活動などは最初から用意されておらず、各々自分たちでやりたいことをやるという形をとっていた。ただ、今年は800万円お金を用意したそうだ。1人当たり10万円程度。

それで、子どもたちは何をやりたいか、スタッフと呼ばれていたが、教職員合わせて100名ぐらいの前で発表して、その中で、優秀な提案にお金がつくそうだ。

その中の1人が教えてくれたのが、神山町というところが、すだちの生産量で日本一なのだが、そのほとんどが使われずに捨てられてしまっているため、これを使って何かできないだろうかと考えた2年生がいたそうだ。その生徒はパフェを作りたいということで、すだちを使ったパフェを計画したそうだ。その中で、毎週水曜日に、起業家、いろんな会社の社長さんが来て、1コマ90分の授業をして、そのあと寮で、一緒に夕食を食べながら話をして、そのあともまた、たき火を囲みながらいろんな話をしたそうだ。

ちょうど星野リゾートの社長さんが来られた回の時に、その生徒は自分のすだちを使ったパフェの計画をしっかりと話し、「これは面白いな」と言ってもらえたが、実際にパフェを食べてもらったところ、美味しくなかったと。だからパフェさえうまくいけば、きちんと起業できるということで、北海道から来ていた生徒であったが、12月の終業式が終わると、東京へ行き、星野リゾートで、2泊3日でパフェの作り方を勉強したそうだ。それを受けて、1月28日に起業するというので、実際に申請をしたという、このようなことをされていた。

岡山県からは、倉敷市と岡山市から2年生に1人ずつ、高梁市から1人行かれているそうだ。その高梁市から行かれている生徒は、学校生活が本当に楽しいと、感想を教えてくれた。高梁市の教育長が言われるには、その生徒自身が、

中学校の時から商店街のまちおこしに中心となって関わっていたそうだ。

そして、現在この神山まるごと高専で、同じようなタイプの生徒の中で切磋琢磨していた。

それで突然「3分間話してください」と言われても、堂々と話すことができ、「なぜこのように突然でも話せるのか」と尋ねると、元々の能力もあるのかもしれないが、授業が1年間すべてこのような話すことが主なのだと、授業が1コマ終わると、振り返りをして、それを自分で言葉にして発表する、こういう訓練をしているから、突然言われてもできるのだと。

山本委員 イエナプランというのが出てきたが、議員の方が実践を見られて随分感動されたのだと思うが、これまでに新教育の手法として、幾つも出てきたドルトンプランだとかデューイの実験学校だとか、そういった流れの一つなのか。

萩原教育長 ごめんなさい。よくわかっていない。ただ去年まで邑久高校にいて、そこで一人面白い国語の教員がいた。大学院に行くと言って、休職して今年2年目だ。その教員が研究しているのが、このイエナプラン教育ということで、去年の段階で、自分が見に行ったことを報告してくれたので、この程度しかわかってない。

ただ、今言われているような、子どもに学びを委ねるような、自分たちでやりたいことをやらせていきながらも、きちんと学習指導要領には則っていくというような形で、イエナプラン学校にしようと思うと、きちんとこのイエナプランの指導の資格を持つ教員が3名要るそうなので、これは市内では難しい。そのエッセンスだけを取り入れたものはできるだろうと考える。

また、その教員に来てもらって勉強しようと思っている。

山本委員 新教育の1つだろうと思う。実は現在の日本の小中高等学校の学習指導要領の一番根底にあるのが、新教育であり、その手法としては、問題解決学習、経験主義の教育である。これは既にやることになっていて、実際邑久高校で行っている『セトリー』などは、そういう学習指導要領だからである。

そこで、やはり学校教育法的一条校なので、イエナプランを取り入れるには制約もあるし、それから保護者全体から見てどうなのだろうか、ということもあるので、やはり1度瀬戸内市での教育は、もうすでに新教育に基づいて行っているのだということわかってもらうのが良い。議員の方々の中には、かつての教員の指導重視であった教え込みの教育というのが頭にあるため、改めてそのイエナプランなどを見ると、すごいと思われた可能性がある。

やはりまず瀬戸内市は「自信を持って現行学習指導要領を着実に円滑に実施していく学校」と言う。それでイエナプランの良いところがあれば、それを教えてくれる先生がいるのであれば、取り入れて、現在の瀬戸内市の小中高の教育がより、学習指導要領に基づいて、その経験主義の教育をやっているかとい

うことについて見直すのが良いと思う。

突然イエナプランが出てきたが、すぐに取り込むわけにはいかないだろう。

それから、総社市の学校を見学に行くときには、ぜひ同行したいと思っている。

萩原教育長

イエナプランをすぐに実施するということは実際できない。そのエッセンスは入れる。

何がされたいかという、小規模特認校の特色づくり。そこで今 2 学年あわせて複式学級をしているところに、もう少し広げてやればうまくいくのではないかと、というような発想をもたれていると考える。例えば牛窓東小学校であれば、各学年 1 クラスずつあるので、そこではなく、美和小学校や裳掛小学校など複式が中心になっている学校で少し実験的にやりながら、その良いところだけを、また市内全体に広げていけたらと私個人は思っている。

平松委員

福山がすごく有名になったのは、公立学校で初めてイエナプランを取り入れられて、その前に長野県の『大日向小学校』が先進的にやられていたところで、経験主義というのは、幼児教育はそこがベースであり、日本に入ってきた時点でそれがベースにあるので、どちらかという親和性がある、と教育方法としては思っていた。

あと、長野県に『風越学園』という、幼児教育から中学校までを 2 段階に分けた私立の学校が、2020 年頃に日本の教育学者たちが中心になって新しい教育の在り方を探ろうということで作られた。イエナプランとは違った方法を、日本の独自性を大事にしながらという方法を考えられているなというのは情報として知っている。

教え込みではないというところは、小学校以上であれ、多分日本は変わらないと思うが、ただ現場に立つ若い先生方が学び塾とかでもっと授業づくりの楽しさや、子どもが学びとってくれて、身についたことを、先生が実感できるようなことが増えていくと、授業づくりも子どももうまく循環しだす。かつ私が願うのが、幼児教育との溝ではなく、子ども自身が乗り越えなくてはならない段差があると思うが、そことの接続がうまくいくと、小規模特認校も幼児からの接続を考えた学校です、という特色がでると良いなと思っていた。

萩原教育長

少し困っているのは、小学校に入る前の幼稚園と保育園とこども園があって、管轄が異なるため、その壁はあると思うが、瀬戸内市の子どもなので、そこも合わせて何かできたら良いなと思っている。

山本委員

徳島県の高専の話だが、学校教育法的一条校としての高専なのか各種学校なのか。

萩原教育長

高等教育学校、大学と同じ位置づけになっている。数学の授業をしていたが、少し早く進んでいる。高校の学習指導要領とは違う。体育は町のお年寄りとスポーツするために、「今日はここに縄があります。これを使って四人組でお年寄

りとどんなスポーツができるか考えてみましょう。」そして実践していく。国立の高専と同じようなことをしている。高校とは違う進んだ授業をされていた。一条校だ。

平松委員 『二十歳の集い』について、『二十歳の集い』なのに『成人式』と発せられた挨拶があった。主催者側が『成人式』という言葉を使わないように統一した方が良いのではないか。

櫻田課長 重々気を付けて来年度も行いたい。

3. 前回会議録の承認

署名委員 山本 正 委員 平松 美由紀 委員

4. 議 事

萩原教育長 議事進行

第1号議案 会計年度任用職員の採用について

河原課長 (資料を基に説明)

全委員 <異議なし>

第2号議案 学校薬剤師の委嘱について

河原課長 (資料を基に説明)

全委員 <異議なし>

第3号議案 瀬戸内市幼稚園児預かり保育条例施行規則の一部改正について

河原課長 (資料を基に説明)

金光委員 市の負担が増えることにならないか。

河原課長 こちらのについても試算をしたが、給付金の制度において、国が2分の1を負担、県が四分の1、残りの四分の1を市が負担している。例えば20日利用した場合、保護者からは月額6000円の保育料を集めて、給付についても6000円しかないが、月額上限をやめると、寄付金の額も20日利用した方は、実際は給付しないが、給付金相当額は9000円になる。市の負担が若干増えるが、市としては、国や県から受ける給付の額も増える。これも試算はしてみているが、令和5年分それから今年度の実績見込み額で、市の歳入歳出を計算してみたところ、ほとんど差が出ない。歳出から歳入を引いて数千円少し市の負担が増えるかな

という程度で、仮に数千円増えたとしてもそれ以上の事務負担軽減が図られるので、保育料を徴収するにもかなり時間を割いているし、逆に給付する方の事務にもかなりの時間を割いているので、こちらの方の負担軽減の効果の方が大きいのではないかと試算している。

金光委員 提案については賛成。ただ、月額 6000 円という制度をやめると、市の負担が増えるのかなというふうに思った。

全委員 <異議なし>

第 4 号議案 瀬戸内市部活動地域移行推進協議会設置要綱の制定について

全委員 <異議なし>

萩原教育長 非公開審議を開始することを宣する。

第 5 号議案 準要保護児童生徒の認定について
<非公開>

萩原教育長 非公開審議を終了することを宣する。

5. その他

・給食の食物アレルギー対応について

金光委員 だいたい何人くらいになりそうか。

森山所長 アンケートをとったところ 32 名が希望している。面談をして実際に申請するかどうかは現時点でははっきりしない。

金光委員 アレルギー検討委員会はどんなメンバーか。

森山所長 要綱をこれから作る。事務局は調理場がもつ。

平松委員 幼稚園の検討委員については、養護教諭がないので不安。

森山所長 幼稚園は希望者が少ないので、園長等でしっかり対応できればと思っている。

・令和 6 年度卒業式、令和 7 年度入学式について

金光委員 県議会議員に、なぜ学校から連絡するのか。

設置者は市で、教育委員会は設置者ではない。

小中学校の設置者の来賓と幼稚園の設置者の来賓は同じではいけないのか。

渡邊参事 県議会議員には、例年学校から連絡をしている。

小中学校の設置者の来賓と幼稚園の設置者の来賓はほぼ同じになる。

・ 1/27 瀬戸内市学校給食調理場運営委員会での議案改正点

- ① 学校給食申し込みに関する保護者の利便性の向上
- ② 一食当たりの単価改正
- ③ 法改正による文言の修正

○次回開催日について

令和7年2月25日(火) 中央公民館

総合教育会議 13:30から

教育委員会議 15:00から

6. 閉 会 (15時15分閉会)